

# AMC101アンケート 12月「ボランティアに関するアンケート」集計と分析

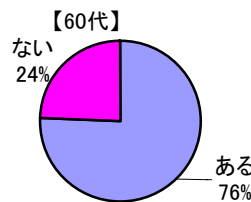
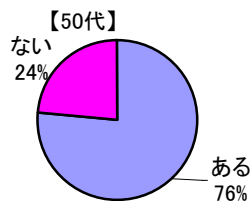
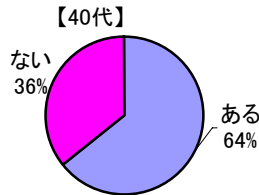
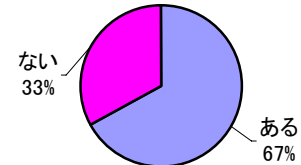
応募総数	723
男	426
女	292
不明	5

年代別	男性	女性	不明	合計
40代	313	227	5	545
50代	82	54	0	136
60代	28	8	0	36
70代	3	3	0	6
合計	426	292	5	723

## Q1. ボランティアでの社会貢献・地域貢献に興味がありますか。

Q1. ボランティアでの社会貢献・地球貢献に興味がありますか。【全体】

	40代	50代	60代以上	合計
ある	344	103	31	478
ない	193	32	10	235
合計	537	135	41	713



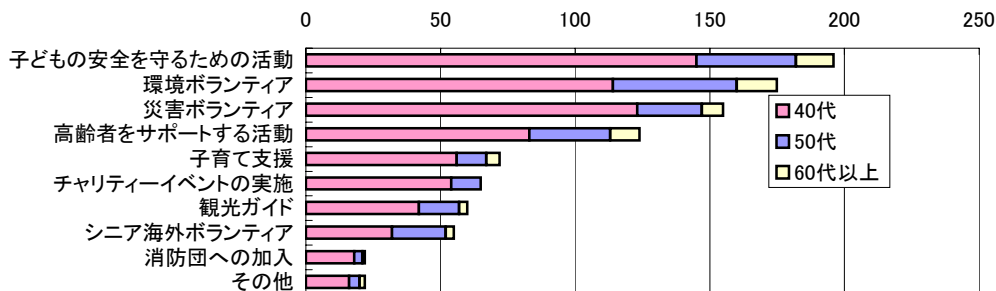
働き盛りの40代では6割強だったが、それ以上の世代では7割を超える人がボランティアに興味があるという回答だった。

## Q2. Q1で「ある」と答えた方にお尋ねします。どんなボランティア活動に興味がありますか？（複数回答可）

	40代	50代	60代以上	合計
子どもの安全を守るための活動	145	37	14	196
環境ボランティア	114	46	15	175
災害ボランティア	123	24	8	155
高齢者をサポートする活動	83	30	11	124
子育て支援	56	11	5	72
チャリティーイベントの実施	54	11	0	65
観光ガイド	42	15	3	60
シニア海外ボランティア	32	20	3	55
消防団への加入	18	3	1	22
その他	16	4	2	22

その他：障害者（児）との支援活動 5（スポーツ・支援・交流・視覚障害者への音読）、動物2（犬猫に関する）、病院内の案内、図書施設の整理や事務の処理など、老人美容院、点訳、留学生ホストファミリー、精神障害ボランティア、手話通訳、日本語教師、募金活動、ボーイスカウト、献血

### Q2 どんなボランティア活動に興味がありますか？



40代では、子どもの安全を守るための活動がトップ。子育て世代であるのが大きな理由と思われる。50代、60代では環境ボランティアの割合が多くなる。清掃など、地域に密着した活動への関心が高くなるようだ。また、高齢者をサポートする活動という回答の割合も50代は40代よりも多い。介護など、現実問題がせまってくると、その活動の重要性を改めて認識するのかもしれない。

## AMC101アンケート 12月「ボランティアに関するアンケート」集計と分析

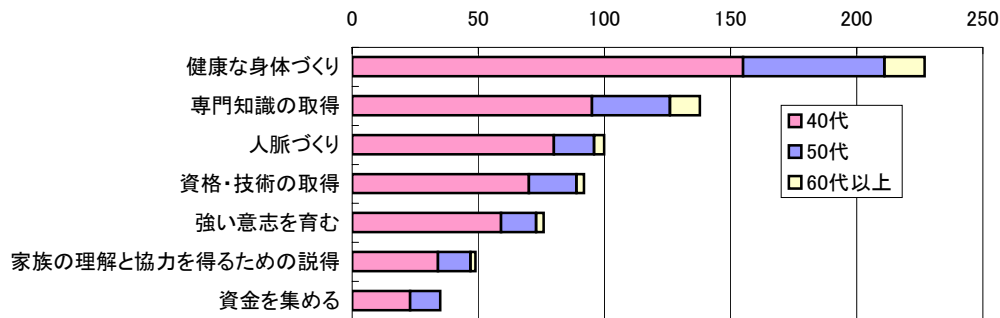
Q3. Q1で「ある」と答えた方にお尋ねします。将来ボランティア活動に実際参加するために、今から準備していること、準備しておきたいと思っていることをおしえてください。(複数回答可)

	40代	50代	60代以上	合計
健康な身体づくり	155	56	16	227
専門知識の取得	95	31	12	138
人脈づくり	80	16	4	100
資格・技術の取得	70	19	3	92
強い意志を育む	59	14	3	76
家族の理解と協力を得るための説得	34	13	2	49
資金を集める	23	12	0	35

その他:地域の助け合い、点字の勉強、ボイスカウトへの加入

年代問わず多いのは健康な身体作り。ボランティア活動は、身体が資本である。次に多かったのは専門知識の取得。専門知識の必要なボランティアに関心のある人も多いということがわかる。資格よりも人脈づくりの回答が多かったのは、ボランティア活動は、一人ではなかなかできないことの現われといえる。

Q3 将来ボランティア活動に参加するために準備していること、したいこと



Q4. 実際にボランティア活動をしたことがある方にお尋ねします。具体的にどんな活動をしたことがありますか？(したことがない方は空欄で結構です・自由記述)

### 【地域ボランティア】

清掃・除草活動(44)  
雪かき作業  
消防団(9)  
体育推進員、子供110番、河川清掃  
キャンプカウンセラー  
ボーイ・ガールスカウト(3)  
子供たちに遊びを教える  
地域の子ども会と連携した行事  
自治会活動・PTA関係  
スポーツ少年団の指導・運営(2)  
地域の安全パトロール(11)  
ボランティアイベントへの手伝い等々  
地域ボランティア  
託児・子育て(2)  
子供育成会

### 【ボランティアで指導】

留学生の世話やホストファミリー  
聖書の教育活動  
在住外国人に対する日本語教師  
市民講座講師  
授産施設の夏祭りとクリスマス会  
フリースクールのボランティア  
観光ボランティア  
美術館でのボランティア  
要約筆記

### 【環境保全・災害ボランティア】

災害ボランティア(19)  
空き地の里山化  
森林保全  
エコマラソンのボランティア  
青年海外協力隊(3)  
希少動物の生態を調べる  
河川愛護モニター  
捨て犬の保護

### 【障害者支援】

障害者の援助・介助(10)  
障害者施設の手伝い(2)  
点訳  
音訳  
視覚障害者向けに広報録音

### 【福祉支援】

献血(2)  
病院で車いすを押す  
お年寄りの家を訪問しお世話(2)  
福祉施設への奉仕(2)  
お年寄りの病院への送迎  
地域で高齢者対象のミニサロン、会合  
老人ホームへの訪問・介助・手伝い(5)  
老人美容院

### 【物資・資金支援】

商品の寄付、車椅子用のリングプル集めなど。  
衣類を海外に送る活動の手伝い(2)  
チャリティー・募金活動(6)

### 【その他】

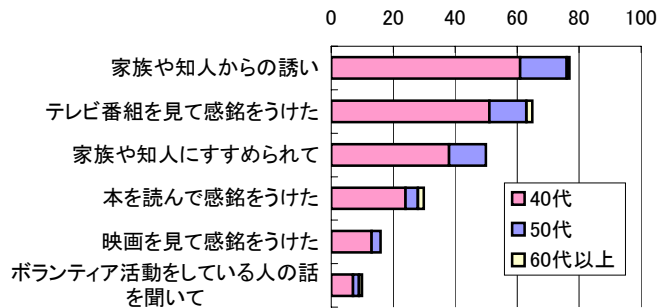
海外で、無償でお手伝いできることは積極的にやっていました。  
ライフセービング補助  
省ゴミ・省エネ  
保育園での雑用、婦人会の露店の手伝い。  
職務を離れ、ボランティアの身分で参加した

## AMC101アンケート 12月「ボランティアに関するアンケート」集計と分析

### Q5. ボランティア活動をするきっかけはなんでしたか？（複数回答可）

	40代	50代	60代以上	合計
家族や知人からの誘い	61	15	1	77
テレビ番組を見て感銘をうけた	51	12	2	65
家族や知人にすすめられて	38	12	0	50
本を読んで感銘をうけた	24	4	2	30
映画を見て感銘をうけた	13	3	0	16
ボランティア活動をしている人の話を聞いて	7	2	1	10

#### Q5. ボランティア活動をするきっかけ



その他：新聞記事(3)、会社での活動(3)、ボーイスカウト・ガールスカウト(3)、頼まれて(3)、子供が障害児だから(3)、ボランティア募集の記事を見て(3)、学校の紹介(3)、昔から興味があった(2)、地方は助け合いで存続しているからあたりまえ(2)、資格講座に参加したこと、地域の人と話し合っ、役員活動の一環、自分の趣味、現地にいたから、自分も障害者だから、今の自分の仕事を生かす、被災地に家族や友達がいた、自分もいずれお世話になるから今できることをしておきたいと思った、入院中に老人ホームの方と知り合いになった、川があまりに汚れていたため、温暖化ガスの排出をおさえるため、地球貢献、祖母の介護、人のために何かするのは当たり前、人間としての使命だと思う、半ば強制的に、なんとなく、自分が役に立つことを見つけたかった

家族や知人に誘われて自分も・・・というきっかけが一番多かったが、テレビ番組の影響も大きい。人々に働きかける映像メディアとしてのテレビの影響力の大きさがわかる。ボランティア活動を実際している人の話を聞いて、という回答は少なく、まだボランティア活動が身近な活動として広く認知されているわけではないことがわかる。ただし、実際ボランティアを経験している人からの「地方・田舎は助け合いで存続しているから当たり前」「人のために何かするのは当たり前」「人間としての使命だと思う」という声があがっており、強制や必要性にせまられてではなく、「自分から(英語のvolunteerは自発的にするという意味で無償でつくす、という意味ではない)」やろうと思うことがはじまるボランティアの特性を現している。